



金沢脳神経外科病院だより ふれあい 2007年 春季号

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院 広報誌
第26号
発行所 メディア広報室
石川郡野々市町徳用町315
TEL 076-246-5600
FAX 076-246-3914
URL : <http://www.incl.ne.jp/knouge/>

病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様の権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者さまの権利

私達は患者の皆様の権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様の権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、充分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

病院長

脳卒中医療連携の組織化

病院長 佐藤 秀次



連携システム作りはこれから
の大きな地域的な課題といえ
ます。医療は地域完結型で行
うべきとの共通認識が確立さ
れた今日、脳卒中に関連する
医療機関は行政も含めて一体
になって地域ニーズに対応で
きるシステム作りを進めてい
くことが肝要です。

本院は急性期、回復期リハ
ビリテーション、医療療養型
の3部門を有し、地域との接
点が多い分、その役割も多く、
大きいと考えています。地域
が必要とする本院の役割に関
する意見に今後とも十分に耳
を傾け、地域における脳卒中
医療の発展に尽くしたいとの
熱い思いを職員一同

本院は急性期、回復期リハ
ビリテーション、医療療養型
の3部門を有し、地域との接
点が多い分、その役割も多く、
大きいと考えています。地域
が必要とする本院の役割に関
する意見に今後とも十分に耳
を傾け、地域における脳卒中
医療の発展に尽くしたいとの
熱い思いを職員一同

本院は急性期、回復期リハ
ビリテーション、医療療養型
の3部門を有し、地域との接
点が多い分、その役割も多く、
大きいと考えています。地域
が必要とする本院の役割に関
する意見に今後とも十分に耳
を傾け、地域における脳卒中
医療の発展に尽くしたいとの
熱い思いを職員一同

本院は平成13年に地域医療
連携室を設置してから、病診
連携を推進し、4月1日現在
で県下330医療機関との間で連
携を結んでいます。この医療
連携の重要な役割の一つは脳
卒中の二次予防であり、脳卒
中の原因である生活習慣病の
治療・管理を診療所で行い、
再発に対する監視を本院で定
期的に行うというものです。

このような脳卒中予防のた
めのシステム作りは徐々に進
みつつありますが、急性期治
療部門と回復期リハビリテー
ション、さらに療養施設間の



登録医療機関

紹介コーナー



村本内科胃腸科医院

診療科／内科・胃腸科・リハビリテーション科・放射線科
(能美市大成町ワ5-1)

院長
村本 卓郎先生

地域に根ざした

『家庭医』として奮闘

今回、根上地区・美川地区・寺井地区などを中心に家庭医として奮闘する村本先生をご紹介します。村本

内科胃腸科医院は、JR寺井駅前の県道根上・寺井線をマルエー根上店に向かって徒歩10分、大成東交差点を左折するとあります。お祖父様の笹次郎氏が吉原(旧根上町)に明治34年に開業され、お父様の齊氏が引き継がれ、そして先生で三代目、100年を越す地域で知られた老舗の医院です。

先生は、「祖父や父がそうだったように病んでおられる方や弱つておられる方々の心身を癒すために時間をとわざご支援することが家庭医だと思います。」とおっしゃいます。

立根上総合病院を退職され、開業するまでのわずかな期間に、この世を見納め“として欧州を旅行されて以来31年間、石川の地を離れずになります。24時間365日いつでも対応できるようスタンバイされておられますから地域のみなさまはとても安心です。先生は毎日、外来診察



◀村本内科胃腸科だより



▼村本内科胃腸科医院

- ・昭和44年3月 金沢大学医学部附属病院 修了
- ・昭和44年～昭和45年 町立根上総合病院 勤務
- ・昭和45年～昭和51年 医療法人社団 村本内科胃腸科医院 開業

略歴

最後に先生は「地域のみなさまと一緒に脳卒中や認知症について勉強会を開きましょう。」とおっしゃいました。その際は、みなさまのご参加をお待ちいたしております。

こいだそうです。常に笑顔で患者さんに接する先生は、生涯現役を貫くとおっしゃって今日も看護師さんと一緒に颯爽と往診に出かけて行かれました。

に往診、そして能美市の医師会長と激務をこなされています。その元気の源をお尋ねしますと、昼夜みのプレーでの一泳ぎが気分転換にもつてまいりました。

このたび、谷事務長のお世話により、平成19年3月1日付で当病院に採用されました。以前は、内灘町にある金沢医科大学に勤務いたしておりましたが、前職の経験を生かして、金沢脳神経外科病院の新築移転計画を、皆様とともにお手伝いさせていただきました。

過日、新病院建設予定地に案内され、その環境、交通、その他の立地条件において、誠に申し分のない場所に計画

当病院入職に当たつて

参与 尾張 吾(ひろし)

されていることに感嘆いたしました。また、今後この好条件のもとに、当病院の理念である、患者さまを中心とした皆様の創意工夫と忌憚のないご意見をいただき、そして実行に際しては、慎重に対処していくことが求められるこ

とでしよう。

すでに、ハード面の建築工事とその環境整備の計画業務はスタートしております。どうぞ皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。とともに、小学生には、よろしくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

「はじめまして…」

看護部長 当波 和美

4月より看護部長として着任しました。30数年大学病院で勤務し主に急性期にかかわってきましたが、自分の家族が病気をしたことがきっかけで改めて地域医療の大切さを考えていた時期に、脳血管・脳神経外科の地域中核病院として重要な役割を果たしている金沢脳神経外科病院で勤務する機会を与えていただいたことは私の仕事人生において大変うれしいことでした。

私は個人のモットーは、「明るく、楽しく、生き活きと!」なので、各現場スタッフとのコミュニケーションを大切にして、仕事のやりがいを感じることができるように明るいチームで、継続して良い医療の提供ができるよう頑張ります。

着任してまず思ったことは、院長をはじめスタッフ全員が高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者さん中心の医療を提供するという共通の目標にむかって切磋琢磨しているということです。それは日本医療機能評価の認定病院であることから各種システムが整

追伸1：日々「ありがとうございます」の言葉をかけあうことが大切だと思っている私です。

追伸2：今年度の新人オリエンテーションの院長のキーワードは「理想・情熱・挑戦」でした。頑張りましょう

祝

おめでとう

今年も新しい仲間が当院にやつてきました！



4月2日、今年の入職式が執り行われました。佐藤病院長の訓示に続き、新入職員に辞令が交付され、代表者が決意の言葉を述べました。



当院での新人研修は3日間にわたって行われました。全部署の責任者が講師となり、各部署の紹介と病院職員としての心構えや、各部署の院内での役割を説明しました。

その他各部署の見学、防火訓練などが行われ、入職4目からはそれぞれの部署に配属となり、医療人としての第一歩を歩み始めました。

患者さんコーナー

辻 勝美 様(石川県小松市在住)

希望(腰椎椎間板ヘルニア)

昨年10月に第1回、続いて本年3月に第2回、生まれて初めての入院が金沢脳外であり、初めての手術も佐藤病院長先生御執刀によるものであります。喜寿を過ぎた今も緑の芝を忘れ難く、50年近く続けてきたゴルフへの想いも断ちがたく、若い頃から無理を続けていた結果の今だと思いながらも2度目の手術をお願いしたのですが、半ばあきらめと半ば期待の中で目下リハビリに邁進中であります。

ひ弱になつた筋肉を伸ばしたり縮めたり、毎日の繰り返しの中で少しずつ本当に少しずつ、寒い冬の後の春の日差しに芽生える若草が頭を持ち上げるような感触を体感しつつ、新緑の5月頃にはもう一度クラブを握れる日のことを夢見ながら励んでいます。毎日です。

御執刀をいただいた佐藤院長先生を始めとする諸先生方、お世話をいたいた川場師長さんを始め、毎日のお世話を頂いている看護師の皆さんに心から感謝申し上げます。

第14回救急症例検討会

地域医療連携室

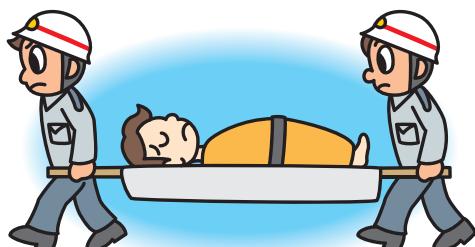
3月7日、当院が主催する第14回救急症例検討会を開催しました。

今回は、地域の救急隊23名に加え石川中央保健福祉センターの所長ら2名の参加を頂き、昨年11月から本年1月末日までに救急搬送された193件の中から、特に救急医療のレベルアップについて熱心な討議が行われました。また、検討会に引き続き、当院の山本副院長が「脳卒中の最新治療」と題して小勉強会を行いました。

次回は、9月5日に開催を予定しています。次回は、9月5日に開催を予定しています。

保健師さんにも勉強会を期待

勉強会を終えて、石川中央保健福祉センター所長から「次年度には地域の保健師さんにも脳卒中や認知症について勉強会を開催したい。」との、要望がありました。開催会を開催していただきたい。



Tokumoto 315 本田 賢一郎

QCサークル活動を始めた3年目。昨年、一年と本チームの活動に対して評価を頂いたことは、さらなる活動意欲向上に繋がっています。

今回、6病棟と薬剤部との合同チームで「簡易懸濁法の業務手順の確立」というテーマで活動をし

ることができました。これからも活動を通して明るい職場にし、職場の活性化につなげていこうと思います。

QCサークル活動を通して

